

[034]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2341031>

出版情報：九州人類学会報. 34, 2007-07-21. Kyushu Anthropological Association
バージョン：
権利関係：



編集後記

34 号も、昨年度の会誌 33 号に続いて充実した内容となっており喜ばしい限りである。論文 3 本と研究ノート 3 本であるが、研究ノートはいずれも高いレベルを持っており、論文として掲載可能なものである。但し、研究ノートの松永和人氏による「わが国の神祭りにみる右マワリと左マワリについて」は 33 号に掲載されたものの再所収である。その理由は編集事務局の不手際により、入力ミスがあり会誌に掲載された際に原稿とは異なる記述が生じ執筆者である松永氏に多大な御迷惑をおかけした。そのため、34 号に再掲することで対処させていただいた。松永氏と会員に改めてお詫び申し上げる。

藤光勢・伊藤泰信両氏による「分業・工程・合議からみる製造現場のマイクロ=エスノグラフィ」は工場のエスノグラフィーであると同時に知識の人類学である。経営工学や集団力学や労働工学などと呼ばれた領域に文化人類学の光を当てたものである。長友淳氏の 'Japanese Lifestyle Migration to Australia: New Migrants in the Era of Transnationalism' はオーストラリアにおけるフィールドワークに基づいた、新しい時代の新しいタイプの移民を通して日本社会や日本文化を逆照射するものである。いずれも意欲的な研究論文である。山口勇人氏の「医療概念の狭さと医療人類学的研究の今日的・基礎的問題」は医療人類学的研究と医療人類学の研究とは何かを <書く> という行為を自らに課した文化人類学者のありようを問うものである。

東氏と宮崎両氏の研究ノートは、研究ノートとはいえ、博士論文の一部を取り上げて論じたものであり高い内容を示している。

英文論文 1 点を 33 号同様含むなど、地方学会とはいえ毎年会誌を発行し、また充実した内容の論文を発表し続ける本会の一層の発展を祈念する。

九州人類学研究会会長
波平 恵美子

九州人類学会報 第 34 号

発行年月日	平成 19 年 7 月 21 日
発行者	波平 恵美子 (研究会会長)
編集委員会	白川 琢磨 (編集委員長) 片山 隆裕 關 一敏
発行所	〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1 九州大学文学部比較宗教学研究室内 日本文化人類学会九州・沖縄地区研究懇談会 九州人類学研究会 電話:092-642-2424 Email:religion@lit.kyushu-u.ac.jp
印刷所	(有) 一正堂 〒812-0053 福岡市東区箱崎 6-14-17 電話 092-651-3771